

# 第13回 SMAシンポジウム2020 in 奈良

## 先進機能材料・先進生体材料としての形状記憶合金の新しい用途開発 Research and Development of Shape Memory Alloys as Advanced Functional and Biomedical Materials

形状記憶合金はマルテンサイト変態に起因して“形状記憶効果”と“超弾性”という他の材料には見られない特性を示す合金です。かつての夢の新合金は、今ではすっかり産業界に溶け込み、新しい機能材料の代表のように市民生活の広い分野で応用されるようになりました。

当協会では、2008年から毎年新たな用途開発の促進のために、形状記憶合金シンポジウムを開催し、海外の講師や若い研究者の方々も登壇され、好評をいただいております。このたびは第13回を迎えるシンポジウムを奈良春日野国際フォーラムにて開催することとなりました。

本年は、特に形状記憶合金やマルテンサイト変態を新しい角度から取り組んでおられる中堅・若手の先生方から、それぞれ最新の研究成果をご講演いただく予定です。

皆様には、医療デバイス、通電アクチュエータなどの用途開発から、腐食・疲労などの材料的課題、新しい形状記憶・超弾性材料開発、更にはマルテンサイト変態に関する基礎研究など、形状記憶合金に関する総合的な討論の場として、多くの方々にご発表いただきたいと存じます。

多数の発表のお申込み、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

●日時:2020年6月18日(木)午後～19日(金)午前

●場所:奈良春日野国際フォーラム・薨 <http://www.i-ra-ka.jp/>

奈良市春日野町101 電話:0742-27-2630 (奈良公園内)

※アクセス:近鉄奈良駅より 徒歩約20分

JR 奈良駅より奈良交通バス1番乗り場または近鉄奈良駅5番出口より奈良交通バス2番乗り場  
いずれも「春日大社本殿」行きで「奈良春日野国際フォーラム薨」前下車  
または「市内循環バス(外回り)」で「東大寺大仏殿・春日大社前」下車 東へ徒歩約3分

主催:(一社)形状記憶合金協会

共催:(一社)日本機械学会材料力学部門形状記憶材料の高機能化と応用に関する分科会

協賛:日本ばね学会

■□■ 一般講演(質疑含み20分)、ポスターセッション参加者募集! □■□

### 基調講演決定!

- ・岡山大学准教授 竹元嘉利 『Ti-10Mo-7Al合金の特異なマルテンサイト変態挙動』
- ・奈良女子大学准教授 松岡由貴 『変態点決めるのは外場か形状か  
一貴金属マルテンサイト合金を例に一』
- ・大阪工業大学准教授 谷口浩成 『形状記憶合金アクチュエータを用いたソフトロボット  
および医療福祉機器の開発』
- ・鈴鹿工業高等専門学校准教授 万谷義和 『チタン合金の焼入れマルテンサイトを  
利用した高減衰能化』

特に臨床、機械工学、医療器具メーカーからのご登壇を歓迎いたします。ポスターセッションには若手研究者の方々のご参加をお待ちいたしております。優れたポスター発表には優秀賞・ASMA賞を贈呈いたします。

※「SMAシンポジウム2020」開催内容・申込み要領につきましては 形状記憶合金協会(ASMA)のホームページでお知らせいたします。(近日公開!) <http://www.asma-jp.com/>